

金融仲介機能のベンチマーク

平成30年度

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)



「金融仲介機能のベンチマーク」とは

- * 金融庁は平成28年9月、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標として、「金融仲介機能のベンチマーク」を策定・公表しました。
- * この「金融仲介機能のベンチマーク」は、全ての金融機関が金融仲介における取組みの進捗状況や課題等を客観的に評価する「共通ベンチマーク」と、各金融機関が事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる「選択ベンチマーク」等で構成されています。
- * 「金融仲介機能のベンチマーク」は、これらの指標を用いて、金融機関が自身の取組みの進捗状況や課題等について認識し、金融仲介の質を一層高めることを目的としていますが、当金庫におきましても、積極的に取り組んでいくベンチマークを公表し、金融仲介機能の強化を通じて、地域経済の発展に貢献してまいります。

(1) お取引先企業の経営改善や成長力の強化

【共通ベンチマーク1】

* 当金庫をメインとされるお取引先のうち、経営指標の改善や雇用の増加が見られたお取引先数およびその融資残高の推移

	28年度	29年度	30年度
メインお取引先数	839先	827先	820先
メインお取引先の融資残高	318億円	340億円	341億円
うち経営指標が改善したお取引先数	461先	469先	561先
経営指標が改善したお取引先の融資残高	238億円	245億円	275億円

(2) 当金庫が関与した創業、第二創業の件数

【共通ベンチマーク 3】

* 創業を目指すお客様が資金調達や各種相談をワンストップで行えるよう、平成25年より日本政策公庫と創業分野の連携契約を結び、さらに平成27年より創業助成金制度を導入するなど、当金庫はお客様の創業、第二創業を積極的に支援しています。

	28年度	29年度	30年度
創業件数	8先	17先	18先
第二創業件数	1先	4先	0先

注) 第二創業とは、業種転換することや新規業種に進出することをいいます。

(3) ライフステージ別の与信先数および融資残高

【共通ベンチマーク 4】

* 全与信先のうち67%に当たる「成長期」「安定期」のお取引先に、安定した資金供給を行うとともに、「低迷期」「再生期」のお取引先に対しては経営改善や再生支援に積極的に取り組んでいます。

(30年度)

	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	1,302先	40先	102先	774先	87先	110先
上記与信先に係る融資残高	475億円	16億円	35億円	275億円	12億円	111億円

注) 財務データ等の不足先については、除外しております。

(4) 当金庫が事業性評価に基づく融資を行ったお取引先数 およびその融資残高

【共通ベンチマーク5】

- * 事業性評価に基づく融資とは、財務データや担保・保証に必要以上に依存することなく、お取引先の事業内容や成長性を評価して行う融資のことです。
- * 当金庫は、お取引先への訪問や経営相談を通じて事業性評価を行い、それに基づく適切な融資を推進しています。

	28年度	29年度	30年度
事業性評価に基づく融資を行ったお取引先数	21先	24先	20先
事業性評価に基づく融資残高	25億円	16億円	6億円

注) 事業性評価に基づく融資を行った与信先数と当該与信先への事業年度末の融資残高

(5) 地域内事業者とのリレーションの状況

【選択ベンチマーク 1・2】

* 当金庫は、滋賀県湖北地域を中心に地域密着型金融を推進し、金融仲介機能の発揮に努めております。

○地域内における全取引先数の推移

	28年度	29年度	30年度
地域内の取引先数の推移	1, 285先	1, 288先	1, 302先

○メイン取引先数(融資残高1位)の推移、および全取引先数に占める割合(先数単体ベース)

	28年度	29年度	30年度
メイン取引先数(融資残高1位)の推移	921先	915先	916先
全取引先数に占める割合	71.7%	71.0%	70.4%

(6) 中小企業向け融資のうち、信用保証協会付き融資残高 および100%保証付き融資残高

【選択ベンチマーク10】

* 信用保証協会付き融資残高および100%保証付き融資残高は、下記のとおりです。

	28年度	29年度	30年度
中小企業向け融資残高 ①	461億円	471億円	475億円
保証協会付き融資残高 ②	99億円	94億円	90億円
②／①	21.5%	20.0%	18.9%
100%保証付き融資残高 ③	48億円	42億円	33億円
③／①	10.4%	8.9%	6.9%

(7) 本業支援先数および全取引先数に占める割合

【選択ベンチマーク12】

- * 本業支援とは、売上向上や製品開発など、お取引先の企業価値向上に資する支援のことです。
- * 当金庫は、お取引先への本業支援について、積極的な取組みを行っています。

	28年度	29年度	30年度
お取引先数(単体ベース) ①	1,285先	1,288先	1,302先
本業支援先数 ②	22先	26先	36先
②/①	1.7%	2.0%	2.8%

(8) メインお取引先のうち、経営改善提案を行っている お取引先の割合

【選択ベンチマーク 15】

* 当金庫は、お取引先の課題解決のため、お取引先との十分な対話を通じて、営業店と本部専門部署および外部専門機関と緊密な連携を図りながら経営改善提案を行っています。

	28年度	29年度	30年度
メインお取引先数(単体ベース) ①	921先	915先	916先
経営改善提案先数 ②	39先	45先	55先
②／①	4.2%	4.9%	6.0%

(9) 他金融機関および中小企業支援施策との連携

【選択ベンチマーク 43・44】

* 取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数

	28年度	29年度	30年度
支援先数	10先	7先	10先

* お取引先の本業支援のため、他金融機関や政府系金融機関と提携・連携した先数

	28年度	29年度	30年度
民間金融機関	3先	3先	4先
政府系金融機関	5先	2先	2先